

(株) 環境保全が小樽運河の水質浄化に挑戦

私達 株式会社 環境保全 (JIFAS会員) は環境改善剤を使用した水環境 (水質・底質) の改善を目的として設立した会社です。



当社は平成18年6月4日、5日と北海道小樽市に於いて小樽運河改善の為、水酸化マグネシウム (商品名クリアウォーター) の散布を行いました。

地元小樽市の役所の方々、学生の方や市民ボランティアの皆さん、また港湾関係の皆さんまでが応援してくださり、小樽運河に美しさが戻る事を心に念じつつ自らの手で散布してくれました。市議会議員さんを始めテレビ、新聞社の方も一緒に粉だらけになる事も厭わずにクリアウォーターの散布に協力してくれた事に心より感謝する次第であります。

当初私達、株式会社環境保全が何故クリアウォーターを使って小樽運河の改善を行う事にしたのかを考えますと

1. 小樽運河は小樽観光の目玉。日頃多くの観光客が連日全国より訪れる。
2. その小樽の運河が最近では水は真っ黒、ヘドロの悪臭で市民からも改善の声があがっている。
3. 市の港湾を管理されている部署の方々も浚渫工事などで手を打っているが今一步成果が出ない

と言うのが現状でした。

その様な事柄を知った私達が、クリアウォーターの持つ力を長い期間の実験の結果を大きく試す場所にしたと考えたのでした。

水酸化マグネシウム「クリアウォーター」は従来から海の養殖場に於いて使用されてきた物で、水中生物には無害である事は知られております。

クリアウォーターが淡水域においても悪化した河川、湖沼の環境改善に大きな浄化能力を持つ事は、私達の数多くの実地試験や受注工事の散布を経て自身をもっておりました。

この様な中、その分析データを基に、製造元の宇部マテリアルズ株式会社、国立環境研究所・稲葉先生とスタッフの方々による追跡研究も行われ、その成果を日本水環境学会や日本水処理生物学会などで有効性について発表されました。

すでに海水域に於いても底泥の改善能力に加え淡水域でも効力もこの様に証明された訳ですから、次にはこの効力を養殖産業に生かす方策の決定というプロセスがあります。

今、私達 株式会社環境保全は国立東京海洋大学と連携して新養殖システムの構築に向け進行中です。

近い将来再びこの紙面をお借りして皆様にお知らせしたいものと思っております。

記 株式会社 環境保全
会長 関谷 隆三郎

<http://www.e-kankyohozen.co.jp/>